



消費税

日本の消費税の歴史

1988年	消費税法が成立	¥
1989年4月	消費税が3%でスタート	
1994年	消費増税法が成立	
1997年	税率を5%に引き上げ	
2004年	消費税を表示価格に含める 「総額表示」の義務化	
2012年3月	「消費増税法案」を提出	

2004年の消費税「総額表示」の義務化によって、買い物時の消費税がいくらなのか、分かり難くなりました。しかし、消費税はレシートに明記されています。消費税はどんな商品にいくら掛かっているのか、確かめてみましょう。

	払った金額	消費税	商品価格
はがき	50	0	50
食品	1,932	92	1,840
電気料金	5,577	265	5,312
衣類	15,540	740	14,800
エアコン	154,000	7,333	146,667
住宅	21,000,000	1,000,000	20,000,000

(単位：円)

あら？はがきは非課税？
他にどんな物が非課税なのかしら？

日常生活の消費税は大したことは無いように思えるけれど、一体いくら払っているのかしら？

消費税が非課税の取引

次のような取引は、消費税の性格や社会政策的な配慮などから非課税となっています。

- ☆ 土地の譲渡（建物には課税）・貸付け
- ☆ 保証料・保険料など
- ☆ 切手・印紙・商品券・プリペイドカードなど
- ☆ 住民票・戸籍抄本等の行政手数料など
- ☆ 社会保険医療など
- ☆ 介護保険サービス・社会福祉事業など
- ☆ 一定の学校の授業料・入学金・入学検定料・施設設備費
- ☆ 教科用図書の譲渡
- ☆ お産費用など
- ☆ 埋葬料・火葬料



2011年年間集計表（総平均・総合）では、
1ヵ月の消費支出計 400,096 円
消費税 19,052 円
1年間の消費税は 228,624 円です。
消費税が10%になると1年間で約45万円支払う事になります。

こぼれ話

イギリスの「付加価値税」（日本の消費税にあたる）は20%ですが、所得の低い人への対策として、アルコールなどを除く食料品や子供服などは0%で、いわゆる「複数税率」の仕組みが取られています。このあいだ、今は税率が0%の一部の持ち帰り用の食べ物のうち「周囲の温度より温かい物」については20%にする方針を発表し、伝統的なパイ「パスティー」など、影響を受ける食品の業界が反発し、ロンドンの首相官邸前で抗議のデモを行いました。



日本の社会情勢を考えると、消費増税は仕方ないという流れの中、わが家が支払っている消費税額を知り、日本はどの方向に進んで行けば良いのか？増税した消費税はどのように使って欲しいか？等を考えてみませんか？